

消防署からのお知らせ

令和2年秋季全国火災予防運動実施

全国統一防火標語

『その火事を防ぐあなたに金メダル』

令和2年11月9日(月)～15日(日)までの1週間

住宅防火
いのちを守る
7つの
ポイント

《3つの習慣》

- ① 寝たばこは、絶対にしない。
- ② 暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスコンロなどのそばをはなれるときは、必ず火を消す。

《4つの対策》

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器は、設置が義務化されてから10年以上が経過しています！
電池切れアラームや作動確認異常の際は、本体交換をお勧めします！



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器が適切に作動するよう、定期的に作動確認を行い、適切に交換を行うよう習慣づけましょう。

石川消防平田分署 ☎ 0247-55-2213

健康アドバイス

公立小野町地方総合病院

新型コロナウイルス感染症対策として、受付・会計・薬局にはアクリルパネルを設置、ロビーや外来待合は毎日欠かさず消毒作業を行なっています。また、患者の動線を分けるため、エレベーターの使用についても制限しています。



入院患者との面会制限も取り組みの一つですが、当院では6月からタブレットによる「LINE（ライン）面会」を実施しています。平日午後2時から3時まで、1週間に1度、最長15分間、ご自分のスマートフォンやタブレット端末から面会いただけます。なお、事前にLINEアプリでの登録が必要ですので、詳しくは当院ホームページをご覧ください。総務課までお問合せください。

当院にお越しになる患者さんや入院患者さんのご家族等には大変ご不便をおかけしておりますが、引き続きご協力をお願いいたします。

LINE面会の登録・予約受付につきましては、平日午後1時30分から受け付けていますので、下記までお問い合わせください。

公立小野町地方総合病院 総務課 ☎ 0247-72-3181

C型肝炎、B型肝炎をそのままにしませんか

肝炎医療費助成制度のお知らせ

肝炎とは、ウイルスが肝臓の細胞に感染し、肝臓の炎症を引き起こす状態です。

そのままにしてしまうと自覚症状のないまま慢性肝炎となり、肝硬変や肝がんへと進行するリスクがあるので注意が必要です。

現在、国の肝炎対策が充実し、肝炎医療費の助成制度等があります。本村では、肝炎ウイルス検査の充実、肝炎医療費の上乗せ助成を早くから独自に開始し、医療費の自己負担が少なく安心して治療ができるよう支援しています。

肝炎は治る時代です。

肝炎治療は専門医の診断のもと行われます。C型肝炎治療には、5年前から飲み薬が使用されており、入院不要で副作用もほとんどありません。現在の治療薬は効果がとても高く、治療したほとんどの方はウイルスが消え、治癒しています。

過去に肝炎検査で要精密検査となっていた方、肝炎検査を実施したか不明な方等、肝炎について相談がある方は、ぜひお気軽にご連絡ください。



国 肝炎対策マスコット

【村・県の肝炎対策事業】

	事業名	内 容
1	肝炎ウイルス検査 (村事業)	○B型・C型肝炎ウイルス検査 ・対象:19歳以上で過去に受けていない方 ・村総合健診で検査可(12月)
2	肝炎医療費助成事業 (県事業)	○B型・C型肝炎治療費を助成 ・月の自己負担額 10,000円又は20,000円(所得により決定)
3	肝炎医療費助成事業 (村独自事業)	○上記自己負担額に対し上乗せし助成 ・上記自己負担額の7割を助成
4	経費助成事業 (村独自事業)	○県助成申請時の経費を助成(一回のみ) ・診断書や住民票等の経費を助成
5	肝がん・重度肝硬変 入院医療費助成事業 (県事業)	○肝がん、重度肝硬変の入院関係医療費の助成 ・指定医療機関の医療費 (対象者の条件あり。詳細はお問い合わせください。)

【お問い合わせ】
村健康福祉課

☎55-3119

健康アドバイス

ひらた中央病院



坪倉 正治 医師

今月は新型コロナウイルスの基本的なことをおさらいしていきます。
コロナウイルスは一般的な風邪の原因ウイルスです。そのため、新型コロナウイルスに感染した際の症状は、熱やだるさ、喉の痛みや咳など、いわゆる風邪とよく似ています。

ご自身やご家族・周辺にそのような症状が出ると、軽い症状でも新型コロナウイルスなのではないかと不安になるかもしれません。ただ、高熱が続くとか、呼吸が苦しいといった重篤な症状では無い場合、実際に私たちに出来ることは、風邪の対応と大きく変わりません。

身体を安静にして、睡眠と水分・食事をしっかりとる。痰がうまく出せない時は、水分を多くとって痰を柔らかくして、背中を軽くたたいて咳と一緒に出しやすくするなど、無理せず焦らず、風邪の時と同じでありきたりなことです、それが最も大事です。

お問合せ先：ひらた中央病院 ☎ 55-3333